

(一社)常総労働基準協会

「ゼロ災推進員養成研修」結果報告

添付資料

■ 安全研修会概要

■ アンケート調査結果一覧

1. あなたの情報

- (1) 業務区分
- (2) KYT研修の有無
- (3) 年代層

2. 教育内容について

- (1) 「指差し呼称」の必要性の理解について
- (2) 「KYTの手法」の理解について
- (3) 教材の内容について

3. 今後もこのような教育は必要か

4. その他自由意見（意見、要望、感想等）



「ゼロ災推進員養成研修」内容

1. 実施日時及び場所

- ・令和5年6月9日(金)
- ・9:00～16:20
- ・ポリテクセンター茨城研修室

2. カリキュラム

(1) オリエンテーション

(2) 講義: 労働災害の現状

(3) 講義: 人間は間違ふ、注意・確認にも限界がある

(4) 「指差し呼称・唱和」及び「危険予知」の必要性

(5) 講義／演習: 主なKYT手法およびTBM(健康KYの 実践)

(6) 講義／演習: 「危険の特定方法」

- ・短絡、似非、タテマエKYTを見直そう!
- ・どんな危険が潜んでいるか

(7) 講義／演習「短時間KYT」

- ・3人一組で演習を繰り返し手法を体得する

(8) 講義／演習: 自問自答一人KYT

(9) 質疑・応答

3. 指導講師

小澤 清

(労働安全コンサルタント、安全衛生責任者教育講師 他)

4. 受講者数⇒7名(アンケート回収数)



【グループ討議】



【グループ討議】

アンケート集計結果

1. 「あなたの情報」について。

(1)担当業務区分	人数	割合
現業	7	100%
管理	0	0%
その他	0	0%
計	7	100%

(2)KYT研修の有無	人数	割合
無し	7	100%
1回	0	0%
2回	0	0%
3回	0	0%
4回以上	0	0%
計	7	100%

(3)年代層区分	人数	割合
20歳代	2	29%
30歳代	3	42%
40歳代	2	29%
50歳以上	0	0%
計	7	100%



【グループ討議】

2. 教育内容について

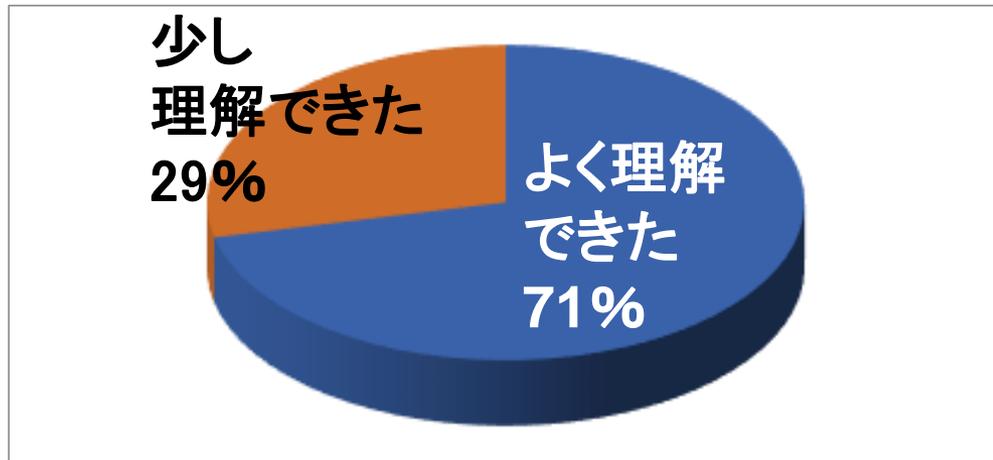
(1)「指差し呼称」の必要性は理解できましたか。

理解度区分	人数	割合
良く理解できた	5	71%
少し理解できた	2	29%
あまり理解できなかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
計	7	100%



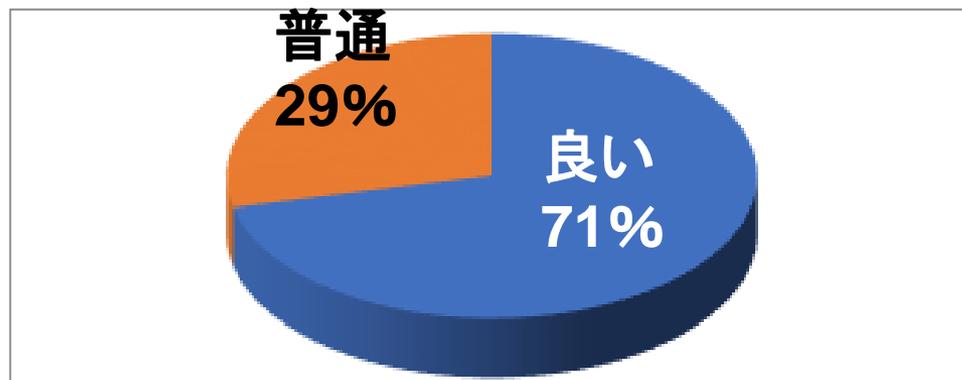
(2)「KYTの手法」について理解できましたか。

理解度区分	人数	割合
良く理解できた	5	71%
少し理解できた	2	29%
あまり理解できなかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
計	7	100%



(2)「教材の内容」について。

区分	人数	割合
良い	5	71%
普通	2	29%
悪い	0	0%
判らない	0	0%
計	7	100%



3. 今後もこのような教育は必要と思いますか。

区分	人数	割合
必要	7	100%
不要	0	0%
判らない	0	0%
計	7	100%



4. その他自由意見（意見、要望、苦情 感想等）（原文のまま記載しています）

- ①KYTは会社でも行っていたが、まったく意味のないこととしていたのだと今回の研修で実感した。否定的な表現を使ったり、対策で“確認をする”という言葉で終わらせていた。社内で今回の研修をフィードバックしてちゃんと内容の濃いKYTを行っていきたいと感じた。
- ②会社で行っていた安全ミーティングやKYTについて、足りない部分や大切な物だったのだと改めて再確認することが出来ました。会社でも今日の教えを実践します。
- ③今まで行っていたKYTでは、結果だけしか考えていなかったもので、今回の研修で深掘りすることで、ケガや事故を防止することが大事だと思いました。
- ④社内にKYTが浸透していないのが良く分かった。
- ⑤会社でKYTをやっていたが、状態と行動を深く考えたことがなかったので、なぜKYTをやっているか考える事が出来ました。

